

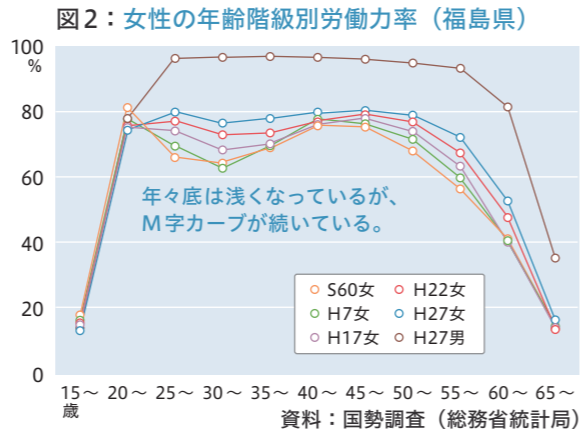
令和に考える男女共同参画とは

男女共同参画と聞いて、どのようなイメージをもちますか。男女共同参画社会とは、男女がお互いを尊重し合い、職場や学校、家庭、地域などの社会のあらゆる分野で、性別に関わらず個性と能力を十分に発揮し、喜びや責任を分かち合うことができる社会のことです。

令和の時代になり、働き方や家庭のあり方、個人の価値観も、年々変化しています。改めて、誰もが自分らしく生きられる理想の男女共同参画社会について考えてみましょう。

福島県の働き方・家事分担の現状は

まず、社会の現状を見ていきます。家事・育児・介護の割合については、「全部」または「大部分」を負担していると回答した女性の割合が高く、女性への負担が大きいことが分かります(図1)。また、女性の年齢階級別労働力率を見ると、卒業の20代でピークを迎えたのち、出産・子育てを迎える30代で底を打ち、子育てがひと段落した40代で上昇するという、いわゆる「M字カーブ」が描かれています。共働き世帯が増加し、年々底は浅くなっています。



町が目指す男女共同参画社会

町は、平成25年に向こう10年を見据えた「第2次こおり男女共同参画プラン」を策定しました。社会情勢の変化に適切に対応するため、平成30年度に一部見直しを図り、男女共同参画推進へ取り組んでいます。下記の5つの基本理念を掲げ、企業や関係団体などと連携しながら、社会の形成を目指しています。具体的な事業として、町内の企業や事業所、団体などに勤める女性を対象にした「こおりレディースカフェ」を行っています。異業種の女性が集

Special Column

支え合いで未来が広がる

「男は仕事、女は家庭」と思っていないませんか。まずは家庭から、男女共同参画を見直していきましょう。



check

当てはまったら要注意
意識セルフチェック

- デートの費用は男性が持つべきだ
- 女性なら料理ができて当たり前
- 男性に子育ては向いていない
- ピンクの服を着ている子は女の子だと思ってしまう

まり、生活していく上での悩みや不安を共有し合い、職場でも家庭でも、自分らしく生きられるあり方について意見を交わしています。また、「男性のための料理教室」や「おとう飯プロジェクト」にも取り組んでいます。料理が苦手な男性でも手軽に作れて、おいしいレシピを紹介し、男性の家事への参加促進

町の基本目標と施策の方向性 「こおり男女共同参画プラン」

1 町の男女平等を基本とした男女共同参画の意識づくり

学校・職場・地域で、男女平等意識を醸成する教育や生涯学習へ取り組む。多文化共生社会における国際交流を促進する。

2 男女が共に家庭生活・地域活動に参画できる社会づくり

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を推進する。就労の場・防災分野における男女共同参画を促進する。

3 女性人材の育成と意思決定過程への参画促進

女性が政策や方針決定過程に参画するため、女性の登用の拡大が図れるよう、女性人材の積極的な育成を図る。

4 人権が侵害されることのない社会の実現

男女間の性差別やあるゆる暴力を根絶するために、相談体制の充実を図る。生涯を通じた男女の健康支援に取り組む。

5 働く女性・働きたい女性が活躍できる環境づくり

女性の力を生かした職業生活を推進する。育児や介護に配慮した多様な働き方、ハラスメントのない職場づくりを推進する。

見直しのポイント

東日本大震災における教訓を生かした防災 H25

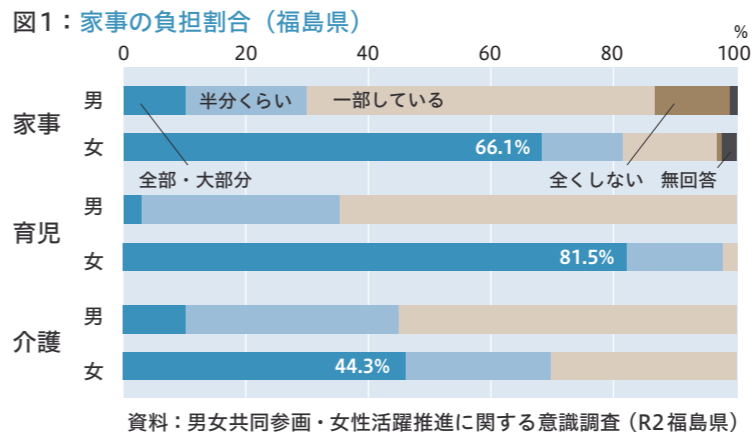
女性活躍推進法が施行され、働き方が変化 H30

キラっ人☆ふくしま

福島県女性活躍応援ポータルサイトでは、県内で自分らしく仕事と家庭を両立させている、キラッと光る「キラっ人さん」を紹介しています。また、家事に取り組む男性「カジダン」に役立つ情報も随時発信しています。

誰もが豊かな人生を過ごすために

いま日本は、男性・女性の枠に捉われないことなく、誰もが活躍できる社会に向けて大きく動いています。しかし、「男性は仕事、女性は家庭」という性別役割分担意識が根強く残っているのも事実です。今後少子高齢化が進むにつれ、男女共に、その個性と能力を十分に発揮できる社会が求められます。「男性だから、女性だから」と性別の枠に捉われず、みんなで活躍できる社会を作るために、まずは家庭のことから取り組んでいきましょう。



ですが、依然としてM字カーブが続いている状況です(図2)。福島県内の女性に「仕事を辞めた理由」を聞いた意識調査では、男性に比べて、女性は「結婚・出産・育児」を理由に退職した人の割合が一番多くなっています。男性も女性も平等に自分らしく生活するためには、どちらか一方に負担が偏るのではなく、支え合いが必要ではないでしょうか。